

1. 子育て支援施設の運営

(1) およこの広場びーのびーの (菊名ひろば)

(横浜市子ども青少年局委託事業 親と子のつどいの広場事業)

- ①親子にとって交流の場となるよう、また子どもは子どもらしく成長できるように、ひろばに集うみんなで見守り、共に助け合い、育ちあえる場となるように心がけた。
- ②スタッフは個々の親子に寄り添い、コミュニケーションを大切にし、それぞれの家庭が必要な支援をすることで、子どもは子どもらしく育ち、親も子育てが楽になるようにサポートすることを心がけた。
- ③子どもたちが、ひろばだけでなく外で自然にふれあひながら遊べるように「お外でひろば」を設定し、内容を利用者と共に考え年5回実施した。
- ④利用者同士がひろばで子どもを預かり合うことで、親はリフレッシュの時間となり子どもの成長をも感じることができるのではないかと利用者の声から、スタッフと共に内容を検討しながら「お互い保育」を数回おこなった。
- ⑤地域の子育て中の親子が中心となり地域子育て支援と共に『菊名子連れお出かけマップ』改訂版を作成した。
- ⑥広報紙を町内会の回覧板に入れてもらうことができ、地域のより多くの方にひろばを知っていただくことができた。
- ⑦ひろばの一時預かりの特徴をいかに、預かり中の子どもを利用者と共に利用者の声から、一時預かりのアンケートを実施しびーのびーの通信に特集することでひろばを利用したことのない親子にもひろばの預かりについて知ってもらう機会を作った。

(2) 港北区地域子育て支援拠点どろっぴ (港北区地域子育て支援拠点委託事業)

- ・日常的なひろば(＝居場所)を通じてはもとより、ひろばと連携したプログラムの改善と継続実施によって、子育てスタート時点の大切な時期を見守り応援することができた1年だった。
- ・こぼくnet ぼいっぴ企画の「子育て応援隊」缶バッジの配布キャンペーンや子育て応援マップの改訂や新規作成も進むなど、親自身が主体となつて子育てしやすい環境づくりの応援を拠点としてできたことは大きかった。
- ・サテライトの開設に向けて、行政や各関係機関との協議を経て、必要な地域情報・地域資源・人材を洗い出し、ニーズ把握や不足している地域などの現状把握を行った結果、綱島東地区にサテライトを開設することができた。
- ・利用者支援事業基本型「横浜子育てパートナー」を円滑に実施することができた。
- ①親子の居場所
 - ・今年度初めて、親子ボランティアメンバー内で「おたがい保育」を年2回、育児講座と併用して10組ずつ交代で相互保育をしながら実施した。我が子を見ながら、他児を預かりあう経験を通して親が成長しあう場を提供し、おたがい保育の必要性和意義を共有することができた。
 - ・プレママカフェの開催数を4回から5回に増やし、復職するプレママが増えていることを受け、育休中の方に先輩家庭として入ってもらうなど内容の充実を努めた。また、プレママカフェやくみサロン参加経験者が次回開催時には先輩家庭として参加するケースが増え、利用者同士の支えあいの循環がなされた。
 - ・外国につながる家庭については、MSC(多文化共生サポートクラブ)のメンバーがやさしい日本語で作成した紹介カードを区内各所に置いた。
- ②情報収集・提供
 - ・企画室と連携し、「オープンデータを活用した子育て情報サービス検討プロジェクト」に着手した。
 - ・利用者の意見を反映しながらわかりやすい情報提供媒体となるようHPの改訂や定期通信の改訂に着手した。
- ③ネットワーク
 - ・「ぎゅっと」本会議を3回開催、研修1回、イベント「小さな太陽」1回を通して、拠点、4つのひろばのスタッフ間交流が深まり、港北区内で子育てをしている家庭に向けて同一の視点を持つようになっていった。
 - ・地区支援としてはマップ作りの他、新横浜の子育てサロン「花の輪クラブ」の次期担い手探しについて、担当地域ケアプラザコーディネーター、地域の民生委員、町内会等にも相談。近隣サロン(「わっとほーむ」)と連携し、次期担い手発掘につなげた。
 - ・大倉山地区への10年の御礼を含め、事業報告や交流の場を正式に持つことができた。
 - ・共創事業本部仲介で、(株)UCCとの企業連携によるコーヒーコーナーの改善ができた。
- ④子育て相談
 - ・個別相談予約が増え、継続を希望する相談者が増えてきた

- ・利用者支援事業の導入により、相談内容における連携や記録票の管理の仕方について検討した。
- ・どろっぴサテライト開所により職員増員にもとづく新任者研修などを行った。
- ・のびのび月ようびやふらっと&ほっとサロンなどの講座にファシリテーターとしてその企画段階からアドバイスをを行った。
- ・近隣関係機関(認可保育園など)からの相談も依頼されるなど、地域への拡がりも見られた
- ⑤人材育成
 - ・地域のチカラ応援事業「P35(パパさんゴー)」の活動支援として、広報協力、保育コーディネーター協力、地域のキーマンへの橋渡し、貸館施設との橋渡しを行った。また、このグループで港北駅伝に出場するなど活動の発展を支援した。
 - ・区内で活動している障がい児地域訓練会、自主サークル7団体と関係機関との交流会を年3回開催した。会を通じてニーズを把握し、区社協と共催し「障がい理解講座」を3回開催した(区社協、城郷小机地域CP、日吉本町地域CP)。初回は「おんぶにだっこ」の研修として位置付けたほか、子サボ提供・両方会員にもメーリングリストなどを通して参加を促すなど、地域人材の掘り起こしに努めた。(講座参加人数は延べ148名、保育体験希望者はそのうち、54名)。
 - また、障がい児グループ支援を通じて区内で活動する7団体による自主的なグループ「なつづから…」が結成された。
- ⑥子育てサポートシステム
 - ・2015年度末の港北区会員数は1692名。全市内の約15%を港北が占めた。活動件数は月平均で810件となった。1月以降の繁忙期には定期説明会の定員を倍に増やしたり出張説明会を開催するなど多くの方が説明会に参加できるよう努めた。
 - ・出張説明会は、ケアプラザやつどいのひろば、子育てサークルなどで合計12回実施。年間通じて合計786名の方が説明会に参加した。
 - ・会員相互の交流会は2回実施し、延べ26名の方が参加した。子サボ通信は2回発行した。
 - ・今年度は病児保育やヘルパー事業の見学・研修を行い、コーディネーターのスキルアップを図ると共に、現状のシステムについて考察した。

2. 子育て支援に関する事業

(1) 預かり保育「まんまーる」

- ①一人ひとりのペースを大切にじっくり対応して、みんなリラックスして保育時間を過ごせるようになった。週5コースでスタート。火・木・金コースは定員(8名)に達し、合計33名。一時預かりの登録者は17名。
- ②同じ曜日のメンバーで、お互いの子を理解し、見守り合う姿が見られるようになった。菊名ひろば・どろっぴ・企画室より地域のイベントを案内し、子育てを楽しむきっかけを提供できた。
- ③一時預かりの利用者: 月平均14名、延長保育の利用者: 月平均12名/利用時間: 月平均18Hと、昨年度より大きく上回った。今年度は出産のフォローで預ける方が多く、中にはグループ保育と一時預かりを併用して5週間連続で毎日来るお子さんもいた。
- ④出産による理由で一時預かりを利用された方が、子サボ提供会員でもある菊名ひろばスタッフに送迎をしてもらうことで安心され、連携の大切さを感じた。配慮の必要なお子さんについてどろっぴスタッフと情報を共有し、相談につなげることができた。

3. 子育てに関する地域の情報発信

(1) 出版・制作・企画事業

- ①びーのびーの幼稚園・保育園ガイド」の発行事業(年1回)
 - 子ども・子育て支援新制度の情報を発行時の最新情報として掲載し、制度を知らない子育て家庭に情報を届けた。
- ②制作: 横浜市幼稚園協会(港北支部、都筑支部)の團長会に参加することでより情報共有をし、イベント内容を工夫するなどして効果的な情報発信をすることができた。「オープンデータを活用した子育て情報サービス検討プロジェクト」に着手した。港北区地域子育て支援拠点どろっぴと連携し、子育てアプリの情報配信の仕組みの検討、報告書を作成した。
- ③書籍販売: 子育てに関する書籍を選定。イベント時など販売した。
- ④びーのびーの通信: 2015年度も遅延することなく年間10回の発行が出来た。どろっぴサテライトの開館に伴い、1Pのロゴやイラスト、4Pの記述などをリニューアル。3Pは来年度のおよこの広場びーのびーの開館時間等変更によるマイナーチェンジを3月に行った。11月より表谷町内会の回覧板に毎月150部回覧されることとなった。今年度はスタイル整骨院、きくな皮膚科小児科さんの新規の広告をいただいた。広告が1枠のみだった月は2回(12月・3月)で昨年度に比べると半分減少となった。
- (2) インターネット事業
 - ①港北区子育て応援マップコママップ(ウェブサイトの編集・制作・運営)
 - 新しいコママップ世代の編集メンバーが増え、記事の作成を任せるとにより当事者目線の発信をした。

②トレッサ横浜HP内「とれおんパーク」ブログ記事制作
トレッサ横浜委託事業ブログのイベントが年2回で定着してきている。各回に次回の広報もするなどのつながりもでてきている。イベント時に「地域情報担当」として話かけるなどをし、ひろばの紹介や子育て情報の提供をした。

(3) 事務請負・コンサルティング事業

①子育てタクシー：サンタクシー(株)に加え、新たに東宝タクシー(株)との協働がスタートし、そこから地域の大学との連携も実現した。
②子どもと保育総合研究所：研究所の夏季大会、冬季セミナーの事務局としての役割りを適切にこなし、報告書制作などにおいてより深く作業に関わることができた。

4. 子育てに関するセミナー・イベント・調査等の企画実施
(1) 絵本の会 (2) ひろば人事業

5. 地域型保育事業の運営

(1) 小規模保育事業 ちいさなたね保育園

①0歳児3名、1歳児11名、2歳児4名の合計18名の保育を行う。全員が新入園児ということで、子どもたち、保護者の方々、職員も安定した生活には時間が必要だと思われたが、少人数ということが信頼関係を築くにもよい方向に影響した。
②保育の基盤づくりとして、外部研修、自主研修を含め約40の講座を受講し、保育の質の向上と、自己研鑽を目指した。また、職員会議振り返りを大切に、保育の共有を行った。
③地域への仲間入りとして月1回の公園掃除に参加。散歩時に顔見知りになり、近所の小規模多機能介護施設「なの花」とはお楽しみ会、お別れ会などに来ていただくなどの交流を行った。

④区のベビーステーションとなった。

⑤地域の親子との交流としては、親子遠足に1組の方が参加

6. 上記の事業を行うために必要な一切の活動

(1) インターン制度

学生ボランティア説明会開催等の活動や地域のイベント、ひろばのおはなし会に積極的に参加した。日常のひろばの中で親子との関わりを大切にしながら活動し、2月のインターン企画では0,1歳児向けに手作り絵本を作成し読みかかせと、0,1歳児が興味を持ちやすい環境づくりについての卒論の発表をおこなった。

(2) 法人事務局

- ①理事会、全体会、運営連絡会等法人運営に関わる一切の会議推進のサポート
- ②まなまー預かり保育事業の運営サポート
- ③ちいさなたね保育園の運営サポート
- ④「ひろば」事業のコーディネート
- ⑤インターン活動を行うためのサポート
- ⑥対外的な窓口としての活動(電話対応、年賀状等)
- ⑦公認会計士の下、月一回の会計チェック等による財務管理
- ⑧労務管理：有給休暇の取得及び時間外、休日勤務の時間外手当の支給の実績有り
- ⑨法人研修の準備、開催サポート及び個人別研修記録表作成
- ⑩「びーのの素」のメーリングリストグループへの法人情報の発信
- ⑪マイナンバー制度導入に関する理解と実務(収集及び管理)

◆2015年度活動計算書(2015年4月1日~2016年3月31日)

経常収益の部	
会費収入	378,000
寄付金	1,048,898
補助金	49,104,684
自主事業収入	19,976,247
受託事業収入	58,920,312
その他収入	2,299
経常収益合計	129,430,440

経常費用の部	
子育て支援施設の運営	70,085,620
子育て支援関連事業	5,275,830
子育てに関する地域の情報発信事業	7,145,568
子育て関連セミナー・イベント・調査等の企画と実施事業	438,557
地域型保育事業の運営	37,475,754
内部取引に係る消去額	-292,680
事業費計	120,128,649
管理費	6,145,854
経常費用計	126,274,503
当期経常増減額	3,155,937

◆ひろば利用実績

活動場所	開館日数	入会者数	のべ利用者数			1日平均利用者数
			子ども	親等	合計	
おやこの広場びーのびーの	236日	107人	4,067人	3,382人	7,449人	31.6人
どろっふ	247日	1735人	17,277人	15,355人	32,632人	132.1人
どろっふサテライト(3月30日開所)	2日		334人	319人	653人	326.5人
総数		1842人	21,678人	19,056人	40,734人	

◆ボランティア活動実績

活動場所	一般・親子ボランティア		学生ボランティア		年間活動時間	年間延人数
	活動時間	延人数	活動時間	延人数		
おやこの広場びーのびーの	1,592.0時間	511人	375.8時間	89人	1,968時間	600人
どろっふ	4,641.0時間	2,301人	1,381.0時間	229人	6,022時間	2,530人
合計	6,233.0時間	2,812人	1,756.8時間	318人	7,990時間	3,130人

◆寄付金・協力金を頂いた方々(敬称略 五十音順 スタッフ除く)

石丸朋子	伊志嶺美津子	伊藤絵里	今村妙子	小野田由紀子	川島敏子	北村舞
栗木幸枝	久保田章	高坂千晶	小林さやか	白幡真由美	鈴木真美	妹尾信二
高木芳之	照井富佐恵	中野保子	原田晴美	榎田紋子	町田恵美	望月 邦
山中幸子	横山弘美	米本正明	米本真貴子	和田美和		

あたたかいご支援ありがとうございました。びーのびーのバザー及びフリーマーケット等へ参加して下さった皆様へも心より御礼申し上げます